総社小教育目標

未来に向かって
かがやく子

校長通信 No4

くすのき

平成 27 年 7 月 10 日

めざす子ども像

やさしい子
たくましい子
すすんで学ぶ子

成長が感じられる１学期

　中庭では，生活科の学習で１年生が植えた朝顔が涼しげに咲き，２年生のミニトマトも赤く色づきました。３年生のホウセンカも花が咲き始めています。

　今年度は，１学期に大きな行事である運動会がありました。その運動会に向けての取り組みや日々の学習活動等を通して，子ども達が育てている植物のように，子ども達も成長してくれた１学期であったと感じています。

　１学期も，残り１週間となりました。それぞれの学級で４月に立てた学級の，自分の目標を振り返り，学習面，生活面ともにまとめをしています。子ども達が自分の成長が感じられるように，また悔いなく夏休みを迎えることができるように，残りの１週間も大切に過ごしてほしいと思います。

７月の生活目標は「正直」

　７月６日（月）の児童朝礼で，赤いハートと青いハートを見せながら，こんな話をしました。　正直とは「正しいことをしたい」という心を大切にして，自分の心にまっすぐに向き合って生きることです。正直に生きることは，自分の心を明るくします。反対に，「自分に都合が悪いから」「本当のことをいうのが怖いから」「失敗を認めたくないから」といって，素直になれなかったりごまかしたりすると心が傷み，暗くなります。してはいけないことをした時，「正直に言おうとする心」と「正直に言えない心」が綱引きをします。そのとき「正直に言えない心」が勝つと，その後も不安な気持ちが続き暗い気持ちで過ごすことになります。素直に過ちを認め謝ることができると自分も相手も，明るい気持ちで過ごすことができるのです。人間はだれでも過ちを犯します。人として大切なのは，その後どうするかです。

　いつも正直な気持ちでいようと心がけていると明るく元気に過ごすことができます。一人一人が正直に生活することを心がけ，明るい心で生活しましょう。そうすると，みんなが明るい気持ちで楽しく生活できます。

よりよい人間関係を築く力を

　仲のよい友達とだけでなく，だれとでもよりよい人間関係を築く力を付けるために，学校では様々な取組をしています。異学年の子どもで活動する縦割り班活動もその一つです。「助け合う心・互いに相手を大切にする心を培い，学年を超えた全校児童の好ましい人間関係を育てる」「集団の一員としての自覚を育てるとともに協調性や社会性を育てる」ことをねらいとして取り組んでいます。縦割り遊びでは，楽しく遊びながら，自然にコミュニケーションをとったり，ふれあったりすることができるように工夫をしています。

月１回の縦割り遊び

じゃんけんに負けたから，二人で乗る新聞紙がどんどん小さくなっちゃったな。新聞紙には一人しか乗れないから，おんぶすることにしよう。

←「みんなでなかよくクイズ！　総小」

　計画委員会が企画し，計画委員の子どもの「やさしい子，すすんで学ぶ子をめざして『みんなで仲良くクイズ！総小』を行います。縦割り班で力を合わせてがんばりましょう。」の放送の下，朝学習の時間に縦割り班でクイズに取り組みました。

中学校教員による乗り入れ授業

　７月１日（水）の１校時から４校時に，総社東中学校の理科担当の真柴先生と薬師寺先生が，６年生各４クラスで「日光を当てた葉には，デンプンができるのか」をシロツメクサを使って実験し，確かめるという授業をしてくださいました。総社東中学校ブロックとして昨年度から取り組んでいる小中連携による授業改善と学力向上事業の一環です。６年生が，中学校の先生の専門性のある授業を体験することで学習に関する興味関心を高めるとともに，中学校への接続をよりスムーズにしようとする試みです。大半の子どもが違いが出るであろうと予想していたようでしたが，実際に日光を当てた部分と当てていない部分の葉の色の違いが出たときには，驚きの声をあげていました。